

【立川綜合病院 抗血栓薬 周術期休薬期間の目安】

※記載されている休薬期間は、あくまでも「目安」です。実際は患者の状態や出血リスク、休薬による血栓のリスク等に応じて判断をしてください。

※拔歯、白内障手術、体表の小手術、出血リスクの低い消化器内視鏡で術後出血への対応が容易な場合等は、継続下での実施が推奨されています。

※脊椎麻酔・硬膜外麻酔・深部神経ブロックを行う際は下記休薬期間より数日長い休薬期間が必要な場合があります。

詳細は麻酔科医にご相談ください。

※通常、術後24~72時間以内に再開をしてください。薬剤によっては負荷投与を考慮してください。

分類	一般名	商品名(青字は当院採用)	術前休薬期間の目安(手術当日を含まない)	
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン錠 アスピリン アスピリン腸溶錠	休薬なしor 7日(出血リスクが高い手術の場合) アスピリン、クロピドグレル両剤の項目を参照 (アスピリン、クロピドグレルそれぞれの処方に変更)	
	アスピリン・ダ・イアルミネット配合剤	バファリン配合錠A81 ニトギス配合錠A81 バッサミン配合錠A81 ファモター配合錠A81		
	アスピリン・ラソリフ・ラゾール配合剤	タケルダ配合錠		
	アスピリン・ボノフ・ラザソ配合剤	キャブピリン配合錠		
	アスピリン・クロピドグレル配合剤	コンプラビン配合錠 ロレアス配合錠		
	クロピドグレル硫酸塩	プラビックス錠 クロピドグレル錠		5日
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント錠、OD錠		7日
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン錠、細粒 チクロピジン塩酸塩錠		7日
	チカグレロル	ブリリンタ錠		3日
	シロスタゾール	プレタールOD錠、散 シロスタゾール錠、OD錠、内服ゼリー		2日
	イコサペント酸エチル(EPA)	エバデールS、カプセル、EMカプセル イコサペント酸エチルカプセル、粒状カプセル		1~7日
	ベラプロストナトリウム	ドルナー錠 ベラプロストNa錠 ベラサスLA錠 プロサイリン錠 ケアロードLA錠		1日
	サルボグレラート塩酸塩	アンプラーグ錠、細粒 サルボグレラート塩酸塩錠		1日
抗凝固薬	タビガトランエテキシラート メタンスルホン酸塩	プラザキサカプセル	出血リスクの低い手術 (Ccr≥80) : 24時間 (79≥Ccr≥50) : 36時間 (49≥Ccr≥30) : 48時間	出血リスクが中等度から高度の手術 (Ccr≥80) : 48時間 (79≥Ccr≥50) : 72時間 (49≥Ccr≥30) : 96時間
	エドキサバントリ酸塩水和物 リバーロキサバン	リクシアナ錠、OD錠 イグザレルト錠、OD錠、細粒分包、ドライシロップ小児用 リバーロキサバン錠	(Ccr≥30) : 24時間 (29≥Ccr≥15) : 36時間	48時間
	アピキサバン	エリキュース錠		
	ワルファリンカリウム	ワーファリン錠、顆粒 ワルファリンK細粒、錠	3~5日	3~5日
			※必要に応じてヘパリン置換を考慮(別紙参照)	
血管拡張薬	リマプロストアルファデクス	オバルモン錠 リマプロストアルファデクス錠	1日	
冠血管拡張薬	ジビリダモール	ペルサンチン錠 ジビリダモール散、錠	1日	
	ジラゼブ塩酸塩	コメリアンコーウ錠 ジラゼブ塩酸塩錠	1日	
	トラピジル	トラピジル錠 ロコルナール錠	1日	
	高脂血症薬	オメガ-3脂肪酸エチル ロトリガ粒状カプセル オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル	1~7日	

参考資料: 2020年JCSガイドライン 冠動脈疾患における抗血栓療法、不整脈薬物治療ガイドライン(JCS/JHPS2020改訂版)、肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(JCS2017改訂版)、2012抗血栓薬服用患者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン・2017直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補、2008循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(2009年改訂版2015.10更新版)、心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)、科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン(2015年改訂版)、添付文書、インタビューフォーム